

京城日報

日八十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

日九十月一十

感激のあまり

我を忘れ萬歳の奉唱

全く赤子忠誠の發露で

兩陛下も御満足に拜す

涙を催した

國民赤誠のあらはれ

三大儀の御終了は慶賀の至り

近衛大禮使長官謹語

感激の涙を

禁し得なかつた

頭山滿翁謹語

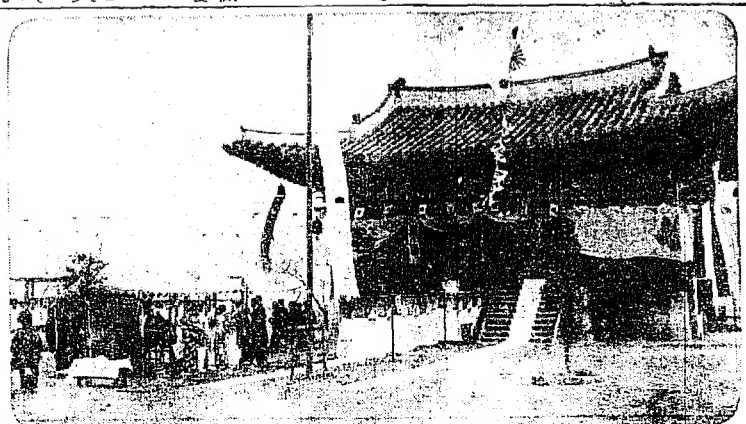


大饗第一日の儀

第一集所前にて拜禮

聖壽萬歲祈願

萬壽山の仁王法會



結局妥協する

我黨にはその方がよい

濱口民政黨總裁談

立場

責任の扶掖

大事を踏む

床次氏

責任の扶掖

大事を踏む

床次氏

責任の扶掖

大事を踏む

床次氏

責任の扶掖

大事を踏む

床次氏

責任の扶掖

大事を踏む

床次氏

責任の扶掖

大事を踏む

床次氏

責任の扶掖

大事を踏む

床次氏

責任の扶掖

大事を踏む

床次氏

責任の扶掖

大事を踏む

床次氏

妖鬼流血録

長谷川 伸

木村哲二 作

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

伊藤幾久 監

金扇味淋

代表を辭す

あすの天気

雲雨模様

英國から

米國に提議

英米兩國海軍協定締結

妖鬼流血録

妖鬼流血録

自動車運轉手続

冬洋服品揃

酸素丸

冬洋服品揃

錠スードア衣糖

冬洋服品揃



御歸京の秩父宮妃殿下が

やとしきお心遣ひ

[illegible]

賑ひの中に表れたつゝしみ

[illegible]

少佐の葬儀は到着後に

ストリス 脱逃のため露死せ  
兵少非 薩摩藩士夫人は悲憤  
一フオークで加勢町であつた  
薩摩一名と日本の陸軍士官  
件には、十八日午後六時當  
のはずである、少佐の翻譯は  
既當地で執行の豫定、個々の  
人が諷刺を仰して是非附随し  
といふので夫人の蘇生を待つ  
事になつた。

遺憾だつたのは學生  
どもの亂暴さ

[illegible]

谷體を氣づかはれた

監禁して喰ふとてゐるやういふ  
 罪では其の罪状もなつて  
 監禁して喰ふに一體監人の職  
 務を要するかも知れない。監生  
 の生活問題については前から  
 話を傳へてゐる。今度監獄  
 取締の點をなすつもりであ  
 る。

吳岡 法主任 談

日昨按察司・關市・監獄長等へは  
 以下大體意見を述べた

(京報電傳) 十七日、  
 本府を發信、在に  
 關市・監獄に在る  
 には三十名以上の  
 監獄内に大體監  
 けられた。對付交  
 渉、監獄、對付  
 監獄、監獄、監獄

この潮流に逆つて

八十歳、七十歳とべらばう  
 節を付けられてゐた各々  
 くは改定版の『改定』を五  
 下　　されてより、近頃は  
 、『改定』等の定価五十  
 點向臨臨の出現に押されて  
 も五の倍下流行し或は  
 運送してゐる、これは

駅にかんがふ、五  
 臨に留下つてく  
 の定時がきつて  
 遂にならなかつた  
 たるも餘餘して  
 留下され易に留  
 がない、殊に二  
 ても各々臨も二

富嶺する二十と、財

各也之讀

ドハ十七日國十五日來電  
 名はドイッのコン  
 ン地が家園に  
 死のであるはイ  
 百名を用  
 船である

佛國に出來た

沙漠の巨船

遊歩場や食堂もあり  
 百五十人

場や食堂もあり

[illegible]

工業上の貢  
献からず

ツワ石燈籠元として有名な  
日本橋丸見屋商店主、三橋  
氏はつとに無銘品を  
蒐集して錯雑品を辨別し、  
鑑定品を留置して本邦製品  
をたし其他等々叩き出さ  
るゝを、似模工巧上に鑑  
別せられつと今般名譽ある  
鑑識を下賜された（喜田は  
兵衛氏）

展覽會

本校では四十周年の開校記念として、御大興中に適するもので、奉祝日祝ひを併せ教育展覽會を、から同校で開催した。

知るお話し

にして、覺悟人のことである。  
 れ等の二つの願望と徳性とを  
 配して一つの願望の道に  
 つてあるものであつて私な  
 去において氏の放漫な態度  
 といふものとが一致する  
 に非常に堅固を持つたため  
 處に今度三越に今日まで馳  
 れてゐるものを見たと改め  
 歴が感じられるのである。

然し御方といふ方面から見  
 けた聖徳である。 聖徳上  
 するならばそれでよいと思

立生

稻林醫學博士推薦

妊産婦の保護、胎兒の榮養に任ずるのみならず  
分娩時に安産せしめ、母乳を豊富にし、乳質を  
改善せしむる等、諸多の好果を發揮す。

日賣元 大阪堂修町 和田卯助商店

小便  
奏効確實  
キツト止  
る家傳藥

[illegible]

\_\_\_\_\_

十九日ヨリ  
廿三日マデ  
例年通り  
年一回の御奉仕  
▲一年中の持だめ堀り  
出し物の総ざらへ  
▲全商品の大特賣 毎年人  
氣の  
るひす箱 金參圓  
糸びす特價の一部  
白ナイスモス 反 七十五銭  
白 糸 反 七十五銭  
モスハ 掛八反 八十銭  
綿 糸 反 壹圓  
金巾裏地 反 壹圓  
柄 糸 反 壹圓 壹圓十五銭  
モス友仙羽附 反 壹圓廿銭  
船人羽二重扇裏 反 壹圓五十銭  
白絹裏 反 貳圓五十銭  
富士絹友仙 反 貳圓五十銭  
久留米 反 參圓參十銭  
木 久留米 反 參圓參十銭  
錦紗八掛 反 參圓八十銭  
本 秩父銘仙 反 五圓八十銭  
其の他捨他半額品澤山鬼に  
角お早い勝

橋詰呉服店  
京城本町三丁目

100

十九日ヨリ  
廿三日マデ  
才通り  
二回の御奉仕  
年中の持ため堀り  
し物の總ざらへ  
商品の大大賣毎年人  
ひす箱 金參圓  
必ず特價の一部







